

平成27年度ふれあい看護体験レポート



看護週間恒例の『ふれあい看護体験』を5月23日（土）に実施、今年は5名の高校生が参加しました。職員が一人一人の学生に付き添い、認知症治療病棟の見学や概要説明など、細かい対応ができたと思われます。

また、認知症の患者様へのケア（足浴やマッサージ・爪切り）も体験し、コミュニケーションも、職員の十分な配慮のもと、学生が実施できたと思われます。患者様、学生も最後まで楽しそうに過ごせていました。

学生は積極的で、コミュニケーションの取り方に対する質問や、食事形態の違いに関する質問など、観たもの、感じたものから学ぼうとする意欲が感じられました。患者様に接した際には、喜びのあまり、涙を流す患者様もいたことは驚きでありました。

ふれあい看護体験を通して、患者様に対する基本的な姿勢を肌で感じたことや、バイタルサインの測定技術なども含めて勉強できたことは、将来、看護師になりたいという夢をもつ学生らにとっては、とても意義のある時間だったと感じます。